

和歌山市 土砂災害ハザードマップ

楠見地区(北部)

いざというときに備え、実際に避難まで歩いてみましょう!

土砂災害ハザードマップの活用について

このマップは、地域のみなさんが適切に避難できるように、土砂災害のおそれのある区域、避難所、避難経路などの避難に必要な情報を地域の状況を含め、作成しています。市から配布済みの各種マップと併せて大切に保管しましょう。

- ### 凡例
- 避難場所
 - 支所・連絡所
 - 内水浸水想定区域
 - 浸水実績
(平成24年4月から平成29年3月まで)
 - 河川・ため池等
 - 主要道路
- ### 土砂災害警戒区域等
- 急傾斜地の崩壊
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 土石流
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 地すべり
 - 土砂災害警戒区域
 - 土砂災害危険箇所
※土砂災害危険箇所による基礎調査により土砂災害特別警戒区域等に指定される可能性も、あり得ます。

- ### 凡例
- 高齢者等の安全確保のため、点呼や安否確認を行う一時的な集合場所 ※
 - 避難経路
 - 土砂災害(特別)警戒区域からの避難方向
- ※地域で選定している一時的な集合場所等で安全確認等を行った後は、できるだけ早く避難先に避難しましょう。
- ### 内水浸水想定区域の降雨条件
- 平成21年11月11日に起きた大雨、122.5mm/時間(和歌山地方気象台)をもとに、内水はん濫における浸水区域を、下水道が整備された地域を対象にシミュレーションしたものです。

マップについて

地域の事情を踏まえ、円滑に避難するための目安となるように避難先(避難場所、市指定でなく近隣住民で選定している場所)、避難経路等の必要な情報を掲載しています。

- このマップは国土基本図をもとに編集し作成したものです。
- マップ上の情報は、表示の有無、表示位置、範囲、形状などについて、現状と異なるところもあります。
- また、この地図に表示された諸条件は、土砂災害(特別)警戒区域(和歌山県公表)、内水浸水想定区域(市公表)を使用して調製しています。実際の土砂災害や浸水は表示している区域と異なる場合があります。

避難するときに気をつけること

このマップに示されている避難経路は一例です。災害の発生状況により通行できないおそれがあり、避難に注意が必要です。普段から、お住まいの家からの避難経路を確認し、やむをえず土砂災害警戒区域内等を通って避難しなければならない場合は、特に注意して避難しましょう。また、継続的な大雨により、地区内の広い範囲で浸水のおそれがあります。浸水がはじまる前に避難するようにしましょう。



避難先安全レベルの考え方

避難先レベル3	大規模災害等が想定される場合でも十分に安全な避難先。
★★★	
避難先レベル2	大規模災害等が想定される場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先。
★★	
避難先レベル1	大規模災害等が想定される場合には事前に開設しないとするが、開設した場合であっても、危険が迫った場合には閉鎖の可能性のある避難先。なお、地区で選定した避難場所については、市で開設・閉鎖はしません。
★	

